

1人1台端末の活用による実践事例

(小・中学校)

学校名	瀬戸内市立美和小学校	実践者名	高取 美香
教科等	音楽科	学年	第5・6学年
		Stage	Stage 2
育成したい 資質・能力	旋律や音の重なり、和音の響きなどが曲想とかかわることを理解し、和音の響きを生かして旋律をつくることができる。		
単元・内容等	「いろいろな和音のひびきを感じ取ろう」(全10時間) 和音の響きや移り変わりを感知取って演奏したり旋律をつくったりする。		
児童生徒の実態 (端末活用頻度等)	昨年度から様々な教科で端末を使用している。スカイメニューやロイロ・ノートなどアプリの基本的操作は説明がなくても使用することができる。また、総合的な学習「拡大熟議～よりよい美和にしよう～」では、自分たちでロイロ・ノート活用を選択し、スライドを作成して発表した。		

活用の概要(使用アプリ名を含む) ※写真も掲載する

○使用アプリ：ロイロ・ノート、SONG MAKER

【児童が提出した歌唱・リコーダー演奏動画】

○1次2次(6時間)

「星の世界」や「メヌエット」を主旋律と副次的旋律の重なりや、和音の響きやその移り変わりを感知取りながら歌ったりリコーダー演奏をしたりした。

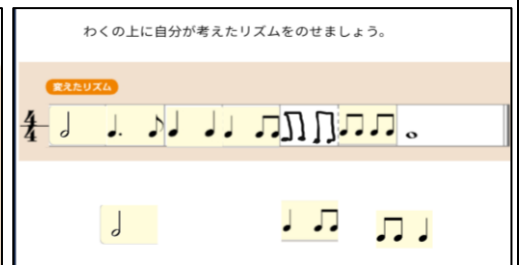
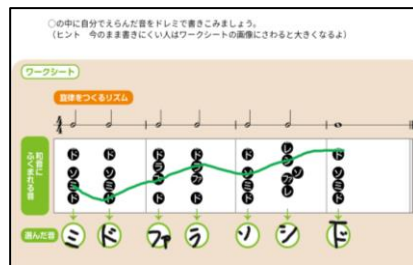
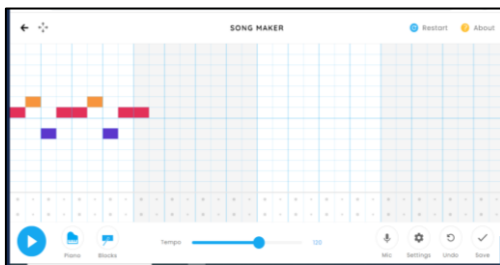
歌唱とリコーダーは3時間ずつの学習時間のため、自分のパートを練習する時間を確保するために、タブレットを持ち帰り、練習した歌唱やリコーダー演奏を録音して提出する家庭学習を行った。その際、ピアノ伴奏付きの歌唱模範動画や「メヌエット」の模範演奏動画を児童に配付することで、児童が1人でもリズムや運指を確かめながら練習できるようにした。



○3次(4時間)

和音に含まれる音を使って、工夫したリズムでお気に入りの旋律をつくった。

和音から音を選んだり、リズムを決めたりするときは、タブレットを活用し、試行錯誤ができるようにした。



【和音から1音選んだもの】

和音の響きや選んだ音が視聴できるため、児童が表現したい旋律をつくる
ことができた。

【選んだ音から表現したい旋律になるようにリズムを工夫したもの】

リズムカードを枠の上に置いて、リコーダーや手拍子で試した。何度
もカードを動かすことで、試行錯誤することができた。

実践者の手ごたえ	児童生徒の振り返りや反応等
家庭学習でリコーダーや歌唱を練習すると正しく自分のパートが演奏できるようになり、授業時間では、自分たちの演奏を通して和音の響きや移り変わり、旋律の重なりを感じることができた。音楽づくりでICTを活用すると、繰り返し操作したり音やリズムを試したりでき、表現したい旋律になるように工夫することができた。	(児童の感想から) 「家庭学習時に、先生からの模範演奏動画を自分の見やすいスピードで再生できるため、運指を確認しながら練習することができてよかった。」「プロの人のようにタブレットで音楽づくりはできないと思っていたけれど、つくることができてうれしかった。」